



いわて医療通信

【循環器疾患を予防して健康寿命を伸ばす】

急性心筋梗塞症を防ぐ

はじめに

死亡する心疾患の代表が

急性心筋梗塞症です。心臓

を栄養する冠動脈が、動脈

硬化を基盤として、血栓で

閉塞することがその原因で

す。症状は、胸が締め付け

られる・胸部の圧迫感・みぞ

おちが痛むなどで、15分以

上、数時間持続します。冷

汗や吐き気、嘔吐などを伴

うこともあります。こんな

ときには、直ちに救急車で

病院を受診してください。

その理由は死亡率が40%

50%で、病院搬送前に急死

するからです。早期治療が

肝心で、閉塞した血管を速

やかに再開通させることが
重要です。

急性心筋梗塞の前触れ

心筋梗塞を発症する前

に、前兆に当たる症状を自

覚する方々がいらっしゃる

ます。それが、狭心症です。

一般には軽い症状で、胸部

の締め付け感や、肩の痛み

など、一時的に数分ないし

15分程度で収まります。浅

田次郎氏は、著書の中で自

身の狭心症の症状を、「背

中からふいに抱きしめられ

る感じである。それも好き

な人がやさしく抱き寄せて

くれるのではなく、ひどく

デモニーッシュ(demoni-

sch:著者注:悪魔的な)な

力で、ググツと羽交い絞め

にされるかのような「

(アムファイン:一病息災)

と表現しています。

この前兆を自覚する患者

さんが、心筋梗塞の患者さ

んの半数に存在し、心筋梗

塞を発症する前、1カ月以

内に起こります。この狭心

症のことを、とくに不安定

狭心症と呼んでいます。不

安定とは、心筋梗塞症にな

りやすいという意味です。

反対に心筋梗塞発症リスク

が少ない狭心症を安定狭心

症と呼んでいます。日本循

の症状である不安定狭心症

のうちに医療機関を受診し

ていただき、心筋梗塞を予

防しようというキャンペーン

を展開しています(二次

元バーコードからホーム

ページを参照いただけます。

岩手県は、このモデル

地区に指定されています。

この前兆のうちに適切に治

療ができれば、心筋梗塞症

が半分に減ると考えられま

す。ちなみに、浅田次郎氏

は、前触れのうちに適切に

治療されたため、心筋梗塞

にならずに済んでいます。

あなたの体は、あなた一

人の体ではありません。家

族の人生をも預かっていま

す。急性心筋梗塞症は、5

分5分で生死を分けます。

なっってからではむしろ遅く、

早期の受診がとても重要で

す。くれぐれも「本当は怖

い家庭の医学」になりませ

んように。

岩手医科大学医学教育学講座

地域医療学分野

内科学講座循環器内科分野

伊藤智範



STOP MI
キャンペーン